



# 秘伝の source (源流) 第5号

発行 広報委員会 発行日 令和2年7月7日 〒558-0011 大阪市住吉区苅田4丁目3番9号

4月7日の非常事態宣言から、不要不急の外出を控えるように国から要請があり、自宅待機が続きまして。職員のみなさんは、どのように過ごしたか、聞いてみました。

●自宅近くに母親が一人暮らしをされており、普段より頻繁に行き、食事をしました。

家では、外食は控えめにコンビニ弁当や簡単な自炊（麻婆豆腐辛めにビールが最高!）・断捨離にも挑戦、家がすっきり片付きました。

天気が良ければご自慢のバイクで府外に出ないぐらいの山々にチョットツーリングに出掛け気分転換も…。いろんな所に行けるように早くなりたいですね。

秋吉さん（保育園）



●普段の私の休日の半分は、週末里親をしているA君との外出などに使っていましたが、コロナで面会が中止になり、自粛初めての休日とはとにかくゴロゴロしていました。例えるなら、横たわる大仏（福岡県）、寝ている大仏（群馬県）状態でした。「イヤイヤ、それではダメでしょう」と思い、私の友人、週末里親のA君に手紙を書きました。その後、友人、A君からも返事が来て、たまには手紙もいいもんだなあ嬉しく思いました。その他、長居公園を朝夕と散歩、マスクを手作りしたり、ガーデニングをしたりと充実した休日でした。週末里親のA君には会えない日々でしたが、また会える日を楽しみにしたいと思います。

今中愛子さん  
（四恩学園乳児院）



## Q 外出自粛期間、さう過ごされましたか？

●コロナ自粛中の休暇の過ごし方と言えば、言わずと知れたオンライン飲み♪

福祉仲間や友人、離れて暮らす家族と飲み食いしながらのおしゃべりは最高♪LINEは加工ができるので、すっぴんでも大丈夫！ZoomはLINEで資料や写真を見ながら話せて便利！オンラインは機械音痴の私でも大丈夫でしたよ！それから断捨離！物を1/3は減らせたかな♪

あとは、Facebookで1日1投稿！明るい内容にしようと思うので、自然と良いこと探しをするのお勧めですよ♪

えいよう  
永栄由記子さん  
（ふれ愛の館しおん）



●任天堂Switchを購入し、「あつまれどうぶつの森」をしていた。人気で入手困難だったため、高額なお金を払い手に入れました。

和田裕太さん（たまみず園）



●早起きをして子ども二人と朝のうちに公園へ行き、お菓子の「ねるねるねるね」を作って食べた。公園に人が増えて来るので公園探しに苦戦しました。

金井裕子さん（経理）



1985年り園児の絵

小学生から高齢者まで、参加対象者を広げて

## こちゃませ食堂 オープン！

### 7月25日（土）17:00~19:00

### 参加職員を募集中！

今年は地藏盆中止。今できることを、せいっぱい！がんばろう 四恩！

平成30年6月5日から実施している子ども食堂では、あびこ商店街や地域の商店に食材の提供などの協力をして頂き、苅田北小学校の30名程の児童を対象に毎週火曜日7時から朝ごはんを提供しています。

参加している子どもたちは、半数がひとりで朝ごはんを食べているので、みんなで会話を楽しみながら食べる貴重な機会になっています。

今回、小学生から高齢者までと参加対象者が広がるように、開催する時間帯を夜に変更。ごはんを通じて、さまざまな世代がつながり、孤立、孤食を防ぎ、困り事を抱えている人も、安心できる温かい場になることを目指して開催します。

気軽に参加できる雰囲気や運営できるように職員にも色々な方に参加して頂きたいと思っています。多世代の人と関わる中で、職員にとっても自分自身の世界を広げ、仕事を飛び越えたお付き合いができる、地域の未来づくりを思い描ききっかけになればと思います。（鎗野さん）





# WEB 研修 乳児院の場合

乳児院で階層別研修が始まり5年目の今年、非常事態宣言が出ている中で研修を実施するにあたり、代表の星野先生と相談させていただき、5月のベーシックコースで初めてリモート研修を取り入れることになりました。そこで、講師の日下先生、受講した職員に「リモート研修をしてみて感じたこと」を聞いてみました。

(田中さん・渡邊さん)

## 「リモート研修をしてみて感じたこと」

マンズ・リソース 講師 日下美穂さん

コロナ禍の為、研修を WEB で行いました。対面なら察知できる反応が分かり難く、普段以上の反応の仕方をお願いしたので、いつもより緊張されていたようにも見えました。しかし、モニターを通していてもかかわらず、とても集中力のある様子が伝わりました。より効果を上げるためにはカメラやマイク、座席等の設定が重要であると痛感しました。実習を伴う研修は対面研修の方がその場の空気を感じ取れて良いのですが、講義型であれば問題はないように思います。時代の流れとして、今後は WEB と対面型研修を混合した形式も必要であろうと感じております。

## 乳児院リモート研修の感想



講師の質問に答える時にタイムラグができて答えにくい  
声が聞こえにくい  
考えている時間がさらに長く感じる  
やりにくい  
研修の場の雰囲気はわかりにくい  
やり取りがスムーズにいかない



講義形式の研修ならリモートでも十分だと思われるが、討論形式やグループワークなど、他の職員と一緒に考える場にはリモートでは現場の空気感が感じられず、対面形式の研修の方が、理解がより深まると考えられる。タイムラグによる居心地の悪さは全体的に士気が下がり積極的な意見の討論にはなりにくいかもしれない。しかし、物珍しさもありいつもとは違う楽しさを感じられたリモート研修でした。



## 黒色ネットで熱中症対策!!

昨年に引き続き、今年も保育園園庭の頭上に黒色ネットが登場!!  
雨除け? 虫除け?

実はこれ『日除け』なんです。

地球温暖化の影響で 年々暑さが増す中、熱中症対策のひとつとして設置。園芸用ネット 16 枚を ロープでつなげて、力いっぱい引っ張って取り付けた、職員の手作りです。日除けの下で、子ども達は毎日元気いっぱい走り回っています。(太田さん)



## 負けないよ コロナに 保育園・児童館から「夏を元気に乗り過ごす 私の〇〇」



・冷たいものが美味しい季節。入浴剤を入れてゆっくりお風呂に入ったり、寝る前はクーラーのタイマーをして身体を冷やさないように心掛けています。出掛ける時はペットボトルを持って行くようにし、脱水を防ぐだけでなく、節約にもなっています!

るり保育園 脇宮さん



・私が元気に夏を乗り切れるのは9月にある少し遅めの花火大会を楽しみにしているからです。頭上に上がる花火は大迫力です。今年は開催されるか分かりませんが、日々小さなことでも楽しみを見つけて、楽しく夏を満喫したいと思っています。

乳児保育園 関本さん



・私のひんやり生活!! 保冷剤を首に巻いたり、アイスノンを使っています。頭も身体もスッキリします~♪

るり2乳児保育園 貞弘さん



・暑くなってくると冷やし素麺が食べたくなりますよね! 私の秘訣は残った素麺をお味噌汁に入れてにゅうめんを作ります。七味との相性も良く、冷えた身体にはもってこいです♪

児童館 増田さん



## WEBで会議をしてみよう！チャレンジ！



世界史に残るような未知の感染症「コロナウイルス」。グローバル化の世界で、いつ収束するのか不明。そんな中でも新しい生活様式、新しい会議のあり方が模索されています。四恩学園の取り組みを紹介します。

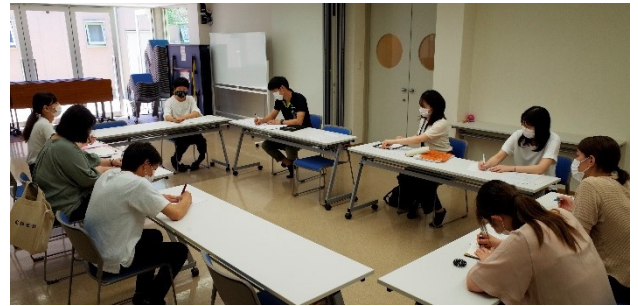
### 主任会より

児童養護施設 施設長 井川満裕さん

このコロナ禍の世の中で私達の職場にもWEB上での会議が必要となり、アナログ人間ばかりの我々にとっては、焦る事ばかりでした。

当初は、接続する事も難しく、声は聞こえるが画像は真っ暗な状況や、カメラに顔を近づけ過ぎる先生など大騒ぎでしたが、あびこと駅前と天王寺を結び会議ができています。

最大のメリットは、移動時間が必要ない事です。今までは天王寺からあびこへの移動には往復で1時間は必要でしたから、経費節減となります。今後は更なる技術向上を目指したいと考えています。



防災、広報委員会もWEB会議で進めています。

法人事務局長 西田和人さん



### 広報委員会

天王寺・乳児院・保育園・ふれ愛・本部

社内報「秘伝のSOURCE」夏号の編集会議を行ないました。



### 人事委員会より

本年度は、コロナウイルス拡大をうけ、採用関係活動が従来の方法から、大きく転換を迫られています。

具体的には、就職フェア～職場説明会～採用試験の手順で採用活動が進められてきましたが、職場見学の制限、3密の状況の回避から、すべてが個別対応での採用対応で進めています。

適正テストのWEB化やWEB面接の導入を始めると、採用活動もIT化の流れが加速しています。

人と人のコミュニケーションがベースである私たちの業界は、直接会って採用する原則を守りながら、新たなシステムを模索したいと考えています。



### 気をつけて「コロナうつ」

食欲がない、何もする気になれない等、体の不調がある時は、四恩学園診療所に相談

診療所 看護師 渡邊ひさみさん

政府による緊急事態宣言が出てから大阪が解除されるまでの約1ヶ月と少し、職員の皆さんはどのように過ごしていただでしょうか？

四恩学園は事業の性質上、在宅勤務になった方よりもいつも通り出勤になっていた職員の方が多かったことでしょう。

電車に乗ること、自粛中に出勤することは、自分が感染するのではないかと自分がコロナをうつしてしまわないか？という不安が大きかったのではないのでしょうか。

世間でコロナ感染者が少なくなってきたとはいえ、以前とは同じような生活には戻れないのではないかと不安を抱えている職員も多いのではないのでしょうか。世間では「コロナうつ」、なんて言葉があちこちから聞こえてきます。

心の不安は体の不調に現れます。眠れない、なんだか不安だ、食欲がない、何もする気になれないなど体の不調

があるときは無理せず休息を取るようになさってください。規則正しい生活を心がける。食事の時には会話は控えてもらわなければなりません、食事の後はマスクをして会話を楽しむのもいいでしょう。

今の携帯は簡単にビデオ通話もできます、遠く離れた家族と電話してみる、疎遠になっていた友達に電話してみる。飲み会が減ったとストレスを感じる方はリモート飲み会に参加してみてもいい。心の栄養はいろんなことから取り込めます。

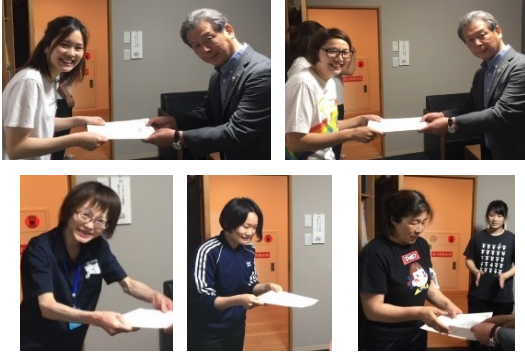
今、大切なことはひとりで悩まないことです。不安のある時は上司や同僚に相談してください。四恩学園には産業医もいます。いつでも相談に来てください。

古来より人間はいろんなウイルスと戦ってきました。コロナとも長い戦いになるでしょう。ワクチンができる、薬ができるそのときまでコロナとは共存していくしかありません。明けない夜はないのです、どうかポジティブな思考で一緒にコロナ禍を乗り越えましょう。



## 令和1年度永年勤続表彰者に 賞状とお祝い金

5月26日秘伝のSOURCE春号で紹介した永年勤続表彰者に中西理事長から賞状とお祝い金が贈られました。福祉のお仕事に拍手！



## 遅れていた入園式へ



編

集

後

記

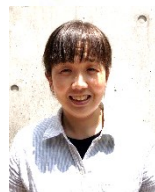
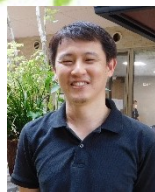
・特養ができ、今年度から初めて法人の広報委員会に参加させていただきます。まだ、右も左もわからない状態ではありますが、広報委員会の一員として、みなさんに楽しく読んでいただけるような記事をお届けできたらと思います。よろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム 寺尾昌也さん

・職員の皆さんが知りたい情報、ちょっと幸せになれる情報など、他部署間交流にも役立てられるような機関誌を、お届けできたらと思います。

四恩みろく乳児院 田中 妙さん

・広報に携わるのは初めてなので、御迷惑をかけることもあると思いますが、職員の皆さんが読んで楽しいなぁと思えるような文面を掲載していきたいです。記事にしたい事があれば募集なので、宜しく願い致します！ 乳児保育園 成田 恵さん



## 地域の お店 3

『インドレストラン ガンジス あびこ店』  
『インドレストラン ガンジス  
天王寺あべのキューズタウン店』

あびこでインド料理と言えば「ガンジス」。1番は上品なお味のナン！小麦粉の値段高騰時も、常連の意見に耳を傾け、こだわりの粉を変えないだけでなく、値段据置きで提供し続けてくれた粋なお店です。

お弁当のテイクアウト(両店A11~P3)は4種類のカレーから選べ、ナンかライス付き税込¥600。ナンは、冷めてもトーストすれば美味さ復活。また、店内飲食では6品中3品を選べるビールセットが超お得(¥925 税抜・写真)。ミニスープのサービスあり。スパイスは食べる漢方と言えるほど健康・美容効果絶大！どっぶり異国文化をお楽しみあれ。

酒井由紀さん(乳児院)



テイクアウト  
利用いかが？

## 居酒屋鮮道 こんび

天王寺駅前の谷町筋沿いに、天王寺で一番上品で魚が美味しい居酒屋と銘打って営業されています。梅田の某レストラン総料理長の経歴を持つ店主が生み出す逸品料理の数々が目玉です！そんなお店の料理をこのコロナの外出自粛の期間、テイクアウトでいただくことができます。おすすめは、「こんび彩り弁当」(1,000円+税)。中身は、炊き合せ、焼き物、揚げ物、主菜ご飯と盛りだくさん。栄養たっぷり、ボリューム満点、バランス最高の3



拍子揃ったお弁当で、安心して外食気分を楽しんでみてはいかがでしょうか。(予約受付：営業時間内の1時間前まで、電話受付対応。)

お渡し時間：11:30~20:00

池田 恵さん(児童養護)

・今年度、広報委員会に初めて入りました。わからないことばかりですが、職員の皆様楽しんでいただける広報誌、親しみをもってもらえる広報委員会の一員として前向きに頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。

児童養護施設 池田 恵さん

・四恩で働きたした時に0歳児だった長女が、もうすぐ20歳。その長い時の間に新しい建物になったり、みろく乳児院ができたり、特養が開設されたりと四恩学園は日々変化、成長して行っているのだなぁ、と実感。私自身もまだまだこれから進化しつつ四恩の魅力を少しでも職員の皆さんに伝えられたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 四恩みろく乳児院 渡邊ひさみさん

・今までアナログな生活をしていましたが、ICT導入やコロナの影響によるオンラインなど、これらの必要性をひしひしと感じています。ホームページや広報誌を通じて、改めて四恩学園のことや働くということについて見つめなおしてみたいと思います。 るり保育園 太田美和子さん

